

丹高ニュース

～ 豊かな学びの実現 ～



栽培したブドウを台湾で販売する丹原高生

丹精ブドウ手に 丹原高生訪台へ

現地で販売や企業見学

丹原高校（西条市丹原町願連寺）の代表生徒20人が22～29日に台湾を訪れ、校内ハウスで育てたブドウを現地のスーパーで販売する。昨年に続き2回目の取り組み。インターシップを兼ねた企業見学や学校訪問も予

定している。

前回の販売プロモーションが好評だったことから、台中市の高級スーパー「裕毛屋」が生徒を招待。生徒らは23日から3日間、店頭で丹原高のブドウを売り込むほか、施設を見学して販売戦略や食品加工、商品管理について学ぶ。

ブドウは農産物の生産工程管理に関する国際規格「グローバルGAP」取得に向けて農業管理したシャインマスカットとニューピオーネ。園芸科学科3年の藤原悠人さん（18）は「色づきも味も良いブドウができた。食への安全意識が高い台湾で日本との違いを学びたいと意気込んでいた。

（中井美歩）

令和元年8月21日(水) 付け愛媛新聞

(掲載許可番号 : d20190821-001)